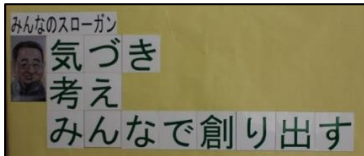


静岡小だより

～気づき 考え みんなで創り出すⅡ～ 令和7年 5月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑬

～学級の基盤づくりを大切に～



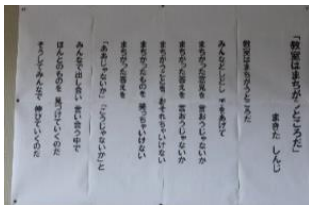
1学期のはじめに、「学級のルールを子どもの習慣にしていけることが大事であり、それが、『気づき 考え みんなで創り出す』基盤になっていく。4・5月とじっくり時間をかけて学級の基盤を創ってほしい。」という話を職員にしました。担任は、子どもたちの思いを丁寧に引き出し、この1年間どう学ぶのか、どう生活をするのか、学級の基盤となるところを、実践を通して大切に築いています。何気ない日常に大切な学びがあります。一例を紹介します。

右は、1年生の国語の学習の様子です。一つ一つの言葉の意味を、体でとらえていくことは、読みを深めます。これは、「動作化」と言われ、言葉や文章を体現することで、語彙を豊かにしたり、内容をとらえ、読みを深めたりしていきます。1年生の読みを支えるとても大切な活動です。



左は、2年生が1年生を学校案内している様子です。この日のために、2年生は案内したいところの紹介文と絵をかい、1年生が学校のことでたくさんの「気づき」ができるように準備をしました。上級生としての気持ちを高めることもできたでしょう。1年生のくらしの基盤を整えるために、2年生もがんばってくれました。

右は、3・4年生の「総合的な学習の時間のオリエンテーション」で担任が書いた黒板です。総合的な学習の時間で、地域のどんな「こと・もの」について学びたいか、その学びの中で「どんな力が身についていくのか」を考えました。3・4年生は、この1年間の総合的な学習の時間への意識を高めていきました。

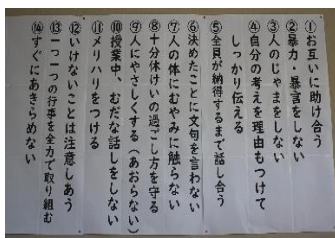


左は、4年生が学習する学習室（旧3年教室）の前面に掲示してある「教室はまちがうところだ」という詩です。みんなが気づいて、考えたことをどんどん出し合って、学びを創っていこうという詩です。専科の縄江教諭が、みんなの合言葉を意識した学びができるようにと掲示した詩です。

右は、5年生の朝活動の様子です。とても落ち着いた姿勢で話が聞けています。学級の基盤の一つとして、こうした「話の聞き方を整える」ことはとても大切なことです。

学級の基盤の上に「気づき 考え 創り出す」自治・協働的な取組は成り立ちます。この1年、6年生に向けた学びをしっかりと積んでいけるとおもいます。





左は、「6年生の志」です。子どもの思いや願いから、学級みんなで進むべき方向性を決めました。自分たちで作った目標なので、一つ一つにこだわりがあります。6年生としてのこれからの学びやくらしの中で、達成に向けて頑張っているですね。掲げられている一つ一つが確かな力と習慣になることを願っています。

みんなで創り出した1年生を迎える会～6年生ありがとう～



4月22日（火）1年生を迎える会をしました。笑顔いっぱいの素敵な集会活動になりました。

1年生も5月を迎え、少しずつ学校生活に慣れてきました。学校がどんなところなのか分かってきたことが安心感につながっていると思います。上級生はいつも1年生の学校生活をあらゆる場面で支えてくれています。頼りになる静間小の子どもたちです。1年生にとってうれしい時間になるように、6年生を中心に「気づき 考え みんなで創り出す」ことができた集会でした。

8人しかいない6年生なので、苦勞することが多くあると思います。しかし、その苦勞して創り出す一つ一つの経験が全校みんなの幸せにつながっていくこと、そして、それが、6年生にとっての大切な学びになることを私は伝えました。

ハマナス自生地保護活動～ユネスコ大会で表彰！？～



4月18日（金）に、静間ハマナス自生地の自然保護清掃をしました。

ハマナスは、県指定の天然記念物の花です。この日、静間小学校ハマナス愛護少年団、静間名所旧跡を守る会、静間まちづくりセンター、一般市民有志の皆さんでハマナス自生地の清掃作業を行いました。

静間小学校のハマナス愛護少年団は、昭和41年、旧静間小学校で結成されて以来続いており、歴史も長いです。この日は50名近い子どもたちが清掃活動に参加・見学しました。1・2年生は活動の見学、3・4年生はハマナス自生地周辺清掃、5・6年生はハマナス自生地を清掃し、とっても綺麗になりました。子どもたちの一生懸命な姿に「この静間地区のハマナスを守りたい。」という気持ちが伝わってきました。見頃は5月ごろと言われているので、ぜひ多くの方々に見に来ていただきたいと思っています。

さて、先に述べましたように、ハマナスは静間地区の宝です。長年、地域全体で保護活動を行ったり、小学校の教材として学習をしたりしてきました。その取組が評価され、今年度の「日本ユネスコ大会 中国大会」で島根県代表の環境保護活動として表彰したいという声をいただきました。まだ決定事項ではありませんが、ハマナス愛護少年団の取組がこうした形で評価される対象になっていることをうれしく思います。小学校では、ハマナスの生態を調べたり、ハマナスを教材とした環境的な視点での探究活動を行ったりする中で、「環境保護のためには、地球規模でどんな取組をしていきたいか」、「環境を守るためにはどんな暮らしを心がけていくべきか」について、子どもたちなりの結論を導き出していける学びが展開できるとよいなと思っています。また、ジャムづくりや香水づくりなど、ハマナスをくらしに取り入れ、ハマナスをより身近に感じられる学びができるとよいです。